

助産婦票

## 助産婦の業務に関する調査

1992年2月  
(社)日本看護協会

日本看護協会では、これからの助産婦の役割を検討するために、助産婦業務の実態を把握する調査を実施することいたしました。  
この結果は統計的に処理し、お答えが外部に漏れてご迷惑をおかけするすることは一切ございません。  
お忙しいところを恐縮ですが、ご協力をお願いいたします。  
\*この調査票は、記入後、返信用封筒に入れて切手を貼らずに投函してください。  
返送は1992年3月15日までをお願いいたします。

助産婦であるあなたご自身のことについてお伺いいたします。該当する番号に○、あるいは実数を記入してください。

問1 あなたの年齢は満  歳

問2 助産婦としての勤務年数  年

問3 助産婦になる以前に看護職として勤務して満  年

問4 配偶関係は  1. 未婚 2. 既婚 3. 離・死別

問5 お子さんは  1. いる 2. いない

問6 あなたの勤務場所の、主な対象(患者)は誰ですか

1. 新生児 2. 未熟児 3. 婦人 4. その他

問7 現在の施設に勤務して 満  年

問8 現在の病棟での勤務年数は 満  年

問9 施設全体の許可病床数は  床

問10 施設の所在地は  都道府県

問11 設置主体は

1. 国立（厚生省） 2. 国立（文部省） 3. 国立（その他） 4. 都道府県  
5. 市町村 6. 日赤 7. その他の公的医療機関 8. 社会保険関係団体  
9. 学校法人 10. 医療法人・個人 11. その他

問12 病院の種類は

1. 大学病院 2. 総合病院（大学病院を除く） 3. その他（  ）

問13 あなたの直属の上司の資格は

1. 助産婦 2. 看護婦 3. 医師 4. その他

問14 あなたは助産婦として採用されていますか

1. いいえ 2. はい

→ いいえとお答えの方にお伺いたします。その理由は何ですか

1. 施設側の都合 2. 本人の希望 3. その他

問15 昨年、あなたがとりあげた分娩件数は  件

問16 あなたの所属する病棟の昨月の出産件数は  件

問17 あなたの所属する病棟の助産婦数  
（婦長が助産婦の場合はその数を含めて）  人

問18 あなたの所属する病棟の看護職員数は  人

問19 あなたの所属する病棟の病床数は  床

問20 あなたが所属する病棟ではどのような看護方式をとっていますか

1. 機能別看護方式 2. チームナーシング  
3. プライマリーナーシング (受持制母児看護)

問21 その看護方式は、助産婦業務が行いやすいと思われませんか

1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない

問22 あなたはこれまでに、次のような看護方式を体験したことがありますか。体験したことのあるものすべてに○をつけて下さい。

1. 機能別看護方式 2. チームナーシング  
3. プライマリーナーシング (受持制母児看護)

問23 助産婦が、産科系以外の病棟にローテーション (他科への配置転換) することに賛成ですか

1. 賛成 2. 反対 3. どちらともいえない

問24 現在、助産婦として満足できる仕事ができているですか

1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない

S Q 1 満足している点はどのようなことですか。ご自由にお書きください

[

S Q 2 どのような事が満足できない点ですか

1. 医師主導で助産婦としてお産がとれない  
2. 行っている業務が看護婦業務と区別がつかない  
3. その他 ( )

問25 現在行っている助産婦の仕事は、変えていく必要があると思われませんか

1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない

問26 あなたご自身、助産技術に自信がありますか。何に自信があり、何に自信がないかを具体的な業務でお書きください

1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない

問27 現在の助産婦業務に問題点を感じていますか

1. はい 2. いいえ

→問題点を積極的に解消しようとしていますか

1. している 2. していない

問28 あなたが学んだ助産婦学校での教育は、現在の業務にどの程度役立っていますか

1. かなり役立っている  
2. まあ役立っている  
3. あまり役立ってない  
4. 役立っていない

→どのような点が役立っていないと考えますか

1. 助産婦としての基礎知識が体系化されていない  
2. 助産技術が充分身につかなかった  
3. 学校で教わったことが、臨床現場で通用しないことが多かった  
4. その他 ( )

問29 現在、どのような専門雑誌を購読し勉強していますか。主なもの1つをあげてください

[ ]

問30 院外の研修や研究会に参加することはありますか

1. ある 2. ない

→年平均何回位ですか [ ] 回

→どのような内容の研修ですか

[ ]

問31 学会に参加することはありますか

1. ある 2. ない

→年平均何回位ですか  回

→どのような学会ですか

問32 助産婦の受持制母児看護（プライマリーナーシング）に賛成ですか

1. はい 2. いいえ

→SQ1 受持制をとった場合、交替制勤務をする必要があると思いますか

1. 必要がある 2. 必要はない 3. どちらともいえない

問33 「産科または産婦人科病棟においては、24時間を通して助産婦が必ず勤務している体制をとる必要性がある。そのため入院患者3人に対し、1人の看護職員が必要である。その看護職員の総数のうち8人以上を助産婦とする」という考えがありますが、助産婦8人以上という人数は、適切であると思いますか

1. 適切である 2. 少ない 3. 多い 4. わからない

問34 あなたの所属する病棟では、助産婦の定員が定められていますか

1. はい 2. いいえ

→SQ はいと答えの方にお伺いいたします

定員は何人ですか  人

→SQ 現在定員は満たしていますか

1. はい 2. いいえ

問35 あなたが所属している病棟の助産婦の配置数は、適切であると思いますか

1. はい 2. いいえ

問36 以下の項目の業務をあなたはどの程度行っていますか。また行っていない業務については、あなたのご意見をお聞かせください。

	行っている		行っていない	
	日常的に行っている	緊急時のみ行っている	今後は行っていない	助産婦は行うべきではない
1. 妊娠診断	1	2	3	4
2. 妊婦定期健診	1	2	3	4
3. 妊婦の超音波診断	1	2	3	4
4. 妊産婦個別保健指導	1	2	3	4
5. 妊産婦集団保健指導	1	2	3	4
6. 分娩進行の診断(内診)	1	2	3	4
7. 分娩監視装置・胎児診電計使用	1	2	3	4
8. 母体の酸素吸入	1	2	3	4
9. 人工破膜	1	2	3	4
10. 正常分娩介助	1	2	3	4
11. 会陰切開術	1	2	3	4
12. 軟産道裂傷縫合術	1	2	3	4
13. 子宮収縮剤使用	1	2	3	4
14. 胎盤用手剥離	1	2	3	4
15. 吸引分娩	1	2	3	4
16. 骨盤位牽引術	1	2	3	4
17. 子宮・陰強填タンポン挿入	1	2	3	4
18. 膣洗浄	1	2	3	4
19. 産褥期の乳房管理	1	2	3	4
20. 褥婦1ヶ月健診	1	2	3	4
21. 新生児仮死蘇生術(用手的)	1	2	3	4
22. 気管内挿管による新生児仮死蘇生術	1	2	3	4
23. 簡易人工呼吸器(バックアンドマスク)使用	1	2	3	4
24. 陰陽圧新生児仮死蘇生器 (レスピレーター)使用	1	2	3	4
25. 新生児への酸素投与	1	2	3	4
26. 新生児モニター使用	1	2	3	4
27. ブルーライト使用	1	2	3	4
28. V. K2	1	2	3	4
29. 新生児一ヶ月健診	1	2	3	4
30. 皮下注射・筋肉注射	1	2	3	4
31. 静脈注射	1	2	3	4
32. 点滴静注による輸液	1	2	3	4
33. 非観血的心臓マッサージ(新生児)	1	2	3	4

長い間、ご協力ありがとうございました

看護部長票

## 助産婦業務に関する調査

1992年 2月  
社団法人 日本看護協会

日本看護協会では、これからの助産婦の役割を検討するために、助産婦業務の実態を把握し、助産婦業務に関する看護部長、産（婦人）科病棟婦長、助産婦、産科医師のご意見をお聞きする調査を実施することにいたしました。この調査票は、看護部長にご記入していただくものです。

調査結果は統計的に処理し、お答えが外部に漏れご迷惑をおかけすることは一切ございません。

お忙しいところを恐縮ですが、ご協力をお願いいたします。

調査票は無記名で返信用封筒に入れ、切手をはらずに1992年3月31日までに投函くださいますようお願いいたします。

問1 病院の経営主体

- |              |                      |           |
|--------------|----------------------|-----------|
| 1 国立（厚生省）    | 2 国立（文部省）            | 3 国立（その他） |
| 4 都道府県       | 5 市町村                | 6 日赤      |
| 7 その他の公的医療機関 | 8 社会保険関係団体           | 9 学校法人    |
| 10 医療法人・個人   | 11 その他（            ） |           |

問2 病院の種類

- |                 |
|-----------------|
| 1 大学病院          |
| 2 総合病院（大学病院を除く） |
| 3 その他の病院        |

問3 産科系病棟の構成

- |          |
|----------|
| 1 産科単独病棟 |
| 2 産婦人科病棟 |
| 3 混合病棟   |

問4 貴病院では、助産婦を「助産婦」として採用していますか。

- |      |       |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

→その理由はなんですか。

- |         |         |                     |
|---------|---------|---------------------|
| 1 本人の希望 | 2 病院の方針 | 3 その他（            ） |
|---------|---------|---------------------|

問5 貴病院では、助産婦を産（婦人）科病棟以外にローテーションしますか。

- |      |       |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

→その理由をご記入ください。

問6 貴病院の産（婦人）科病棟では、どのような看護方式をとっていますか。

- |                          |
|--------------------------|
| 1 機能別看護方式                |
| 2 チームナーシング方式             |
| 3 プライマリーナーシング（受け持ち制母児看護） |



問7 その看護方式で実践して、助産婦としての仕事は達成されているとお思いですか。

1 はい	2 いいえ
------	-------

→どのような問題がありますか。

問8 貴病院では、助産婦がその専門性を発揮して仕事をしていると思いますか。

1 はい	2 いいえ
------	-------

→そのように思われる理由をご記入ください。

問9 貴病院の助産婦の今後の課題はどのようなことでしょうか。

問10 助産婦に期待することがありましたらご記入ください。

——ご協力ありがとうございました。——

産（婦人）科病棟婦長票

## 助産婦業務に関する調査

1992年 2月

社団法人 日本看護協会

日本看護協会では、これからの助産婦の役割を検討するために、助産婦業務の実態を把握し、助産婦業務に関する看護部長、産（婦人）科病棟婦長、助産婦、産科医師のご意見をお聞きする調査を実施することにいたしました。この調査票は、産（婦人）科病棟婦長にご記入していただくものです。

調査結果は統計的に処理し、お答えが外部に漏れご迷惑をおかけすることは一切ございません。

お忙しいところを恐縮ですが、ご協力をお願いいたします。

調査票は無記名で返信用封筒に入れ、切手をはらずに1992年3月31日までに投函くださいますようお願いいたします。

### 問1 病院の経営主体

- |              |                      |           |
|--------------|----------------------|-----------|
| 1 国立（厚生省）    | 2 国立（文部省）            | 3 国立（その他） |
| 4 都道府県       | 5 市町村                | 6 日赤      |
| 7 その他の公的医療機関 | 8 社会保険関係団体           | 9 学校法人    |
| 10 医療法人・個人   | 11 その他（            ） |           |

### 問2 病院の種類

- |                 |
|-----------------|
| 1 大学病院          |
| 2 総合病院（大学病院を除く） |
| 3 その他の病院        |

### 問3 産科系病棟の構成

- |          |
|----------|
| 1 産科単独病棟 |
| 2 産婦人科病棟 |
| 3 混合病棟   |

問4 貴病院では、助産婦を「助産婦」として採用していますか。

1 はい	2 いいえ
------	-------

→その理由はなんですか。

1 本人の希望	2 病院の方針	3 その他 ( )
---------	---------	-----------

問5 貴病院では、助産婦を産（婦人）科病棟以外にローテーションしますか。

1 はい	2 いいえ
------	-------

→その理由をご記入ください。

問6 貴病院の産（婦人）科病棟では、どのような看護方式をとっていますか。

1 機能別看護方式
2 チームナーシング方式
3 プライマリーナーシング（受け持ち制母児看護）

問7 その看護方式で実践して、助産婦としての仕事は達成されているとお考えですか。

1 はい	2 いいえ
------	-------

→どのような問題がありますか。

問8 以下の各業務を助産婦はどの程度行なっていますか。それぞれの項目について該当する番号に○をつけてください。行っていない場合はどちらかのご意見に○をつけてください。

項目	助産婦が行なっている		助産婦が行なっていない	
	助産婦が日常的に行なっている	助産婦は緊急時のみ行なっている	今後は助産婦にも行なわせたい	助産婦は行なうべきではない
1 妊娠診断	1	2	3	4
2 妊婦定期健診	1	2	3	4
3 妊婦の超音波診断	1	2	3	4
4 妊産婦個別保健指導	1	2	3	4
5 妊産婦集団保健指導	1	2	3	4
6 分娩進行の診断(内診)	1	2	3	4
7 分娩監視装置・胎児心電計使用	1	2	3	4
8 母体の酸素吸入	1	2	3	4
9 人工破膜	1	2	3	4
10 正常分娩介助	1	2	3	4
11 会陰切開術	1	2	3	4
12 軟産道裂傷縫合術	1	2	3	4
13 子宮収縮剤使用	1	2	3	4
14 胎盤用手剥離	1	2	3	4
15 吸引分娩	1	2	3	4
16 骨盤位牽引術	1	2	3	4
17 子宮・腔強填タンポン挿入	1	2	3	4
18 腔洗浄	1	2	3	4
19 産褥期の乳房管理	1	2	3	4
20 褥婦1ヵ月健診	1	2	3	4
21 新生児仮死蘇生術(用手的)	1	2	3	4
22 気管内挿管による新生児仮死蘇生術	1	2	3	4
23 簡易人工呼吸器(バックアンドマスク)使用	1	2	3	4
24 陰陽圧経児仮死蘇生器(レスピレーター)使用	1	2	3	4
25 新生児への酸素投与	1	2	3	4
26 新生児モニター使用	1	2	3	4
27 ブルーライト使用	1	2	3	4
28 V.K <sub>2</sub> 投与	1	2	3	4
29 新生児1ヵ月健診	1	2	3	4
30 皮下注射・筋肉注射	1	2	3	4
31 静脈注射	1	2	3	4
32 点滴静注による輸液	1	2	3	4
33 非観血的心臓マッサージ(新生児)	1	2	3	4

(裏面に続く)

問9 貴病院では、助産婦がその専門性を発揮して仕事をしていると思いますか。

1 はい	2 いいえ
------	-------

→そのように思われる理由をご記入ください。

問10 貴病院の助産婦の今後の課題はどのようなことでしょうか。

問11 助産婦に期待することがありましたらご記入ください。

——ご協力ありがとうございました。——

医師票

# 助産婦の業務に関するアンケート

1992年2月  
(社)日本看護協会

このたびは、日本看護協会では、助産婦業務の実情を把握するため、アンケート調査を行うことにいたしました。この調査の目的は、医師の皆様が、日頃助産婦にどのような業務を任せているかを把握し、助産婦の役割を再検討するための資料とするものです。どうか調査の主旨を御理解いただき、ご協力賜わりたくお願い申し上げます。このアンケートは無記名で、同封の封筒に切手を貼らずに、平成4年3月末日までに、投函下さい。

問1 あなたの年齢は  歳

問2 現在の施設での勤続年数は  年

問3 あなたは以下の項目の業務を日頃、助産婦にどの程度任せていますか。該当する番号に○をつけてください。

	緊急時のみ		任せていない	今後は任せたい
	任せている	任せている		
1. 妊娠診断	1	2	3	4
2. 妊婦定期検診	1	2	3	4
3. 妊婦の超音波診断	1	2	3	4
4. 妊産婦個別保健指導	1	2	3	4
5. 妊産婦集団保健指導	1	2	3	4
6. 分娩進行の診断(内診)	1	2	3	4
7. 分娩監視装置・胎児診電計使用	1	2	3	4
8. 母体の酸素吸入	1	2	3	4
9. 人工破膜	1	2	3	4
10. 正常分娩介助	1	2	3	4
11. 会陰切開術	1	2	3	4
12. 軟産道裂傷縫合術	1	2	3	4
13. 子宮収縮剤使用	1	2	3	4
14. 胎盤用手剥離	1	2	3	4
15. 吸引分娩	1	2	3	4
16. 骨盤位牽引術	1	2	3	4
17. 子宮・陰強填タンポン挿入	1	2	3	4
18. 膣洗浄	1	2	3	4

19.	産褥期の乳房管理	1	2	3	4
20.	褥婦1ヶ月健診	1	2	3	4
21.	新生児仮死蘇生術(用手的)	1	2	3	4
22.	気管内挿管による新生児仮死蘇生術	1	2	3	4
23.	簡易人工呼吸器(バックアンドマスク)使用	1	2	3	4
24.	陰陽圧新生児仮死蘇生器(レスピレーター)使用	1	2	3	4
25.	新生児への酸素投与	1	2	3	4
26.	新生児モニター使用	1	2	3	4
27.	ブルーライト使用	1	2	3	4
28.	V. K2投与	1	2	3	4
29.	新生児一ヶ月健診	1	2	3	4
30.	皮下注射・筋肉注射	1	2	3	4
31.	静脈注射	1	2	3	4
32.	点滴静注による輸液	1	2	3	4
33.	非観血的心臓マッサージ(新生児)	1	2	3	4

問4 貴院の助産婦の今後の課題はどのようなことでしょうか

[ ]

問5 助産婦に期待することがありましたらご記入下さい

[ ]

問6 貴院では、助産婦がその専門性を発揮して仕事をしていると思いますか。

1. いいえ 2. はい

→ そのように思われる理由をご記入下さい

[ ]

問7 助産婦の教育内容をご存じですか。

1. よく知っている      2. ある程度知っている  
3. あまりよく知らない      4. まったく知らない

問8 助産婦業務の法律的な位置付けをご存じですか。

1. よく知っている      2. ある程度知っている  
3. あまりよく知らない      4. まったく知らない

お忙しいところ、ご協力ありがとうございました。

## お産に関するアンケート調査

1992年3月  
社団法人 日本看護協会

＜お 願 い＞

赤ちゃんのお誕生、おめでとうございます。社団法人日本看護協会では、このたび、お母様と赤ちゃんに喜ばれる看護をしていくために、病院の協力をえて、お母様がお産についてどのような意見や考えをお持ちになっているのかをお聞かせいただくことにいたしました。お忙しい毎日とは存じますが、このアンケートにご協力をお願い申し上げます。

なお、このアンケートのお答えは、すべて統計的に処理をいたしますので、個人の名前がでたり、答えが外にもれて、ご迷惑のかかることはございません。ありのままにお答え下さい。

[ ご 注 意 ]

- ・お名前は書かなくて結構です。
- ・お答えは、当てはまる番号に○をつけて下さい。
- ・アンケートは、入院中にご記入下さい。ご記入が済みましたアンケートは、同封の本協会宛ての封筒に入れて封をして、切手をはらずに1992年3月31日までにご返送下さい。
- ・アンケートについてのお問い合わせは、下記へお願いいたします。

社団法人 日本看護協会 調査研究室  
〒150 東京都渋谷区神宮前 5-8-2  
TEL 03-3400-8331 内線231-230

1					5
---	--	--	--	--	---

F 1 あなたの住まいは、  都・道・府・県 6・7

F 2 あなたの年齢は、  歳 8・9



問1 今回なぜこの病院でお産をしたのですか。次の中から、当てはまる理由すべてに○をつけて下さい。また、その中で、最も重視した理由に◎をつけて下さい。

1	医者の評判がよい病院だから	10
2	看護婦や助産婦の評判がよい病院だから	11
3	気軽に相談できる雰囲気のある病院だから	12
4	安産体操や呼吸法をきちんと指導してくれる病院だから	13
5	計画的なお産ができる病院だから	14
6	麻酔による痛くないお産ができる病院だから	15
7	ラマーズ法を取り入れている病院だから	16
8	母児同室の病院だから	17
9	母乳栄養主体の病院だから	18
10	夫の立ち会いができる病院だから	19
11	面会が自由な病院だから	20
12	設備が快適な病院だから	21
13	通いやすい病院だから	22
14	親や知り合いがすすめた病院だから	23
15	その他 ( )	24
16	別にこれといった理由はない	25

26・27:◎

問2 あなたは、妊娠や出産に関する雑誌や本をどの程度読んでいましたか。

1	よく読んでいた	28
2	時々読んでいた	
3	ほとんど読まなかった	
4	全く読まなかった	

SQ では、そのような雑誌や本を読んで妊娠や出産に対する不安は解消されましたか。

1	はい	29
2	いいえ	
3	どちらでもない	

同3 今回の妊娠中に次のようなことがありましたか。あった場合、相談相手は誰でしたか。

	相談相手(1に○をつけた方がお答え下さい。)						
	1はい	2いいえ	1医者	2看護婦	3助産婦	4その他(具体的に)	
出血	1	2	1	2	3	4 ( )	30 36-37
つわり	1	2	1	2	3	4 ( )	31 38-39
貧血	1	2	1	2	3	4 ( )	32 40-41
便秘	1	2	1	2	3	4 ( )	33 42-43
下腹がはる	1	2	1	2	3	4 ( )	34 44-45
イライラ	1	2	1	2	3	4 ( )	35 46-47

同4 今回お産をした病院には、助産婦がいましたか。

1 いた	48
2 いなかった	→同5へ
3 いたかどうかわからない	
4 助産婦を知らない	

→SQ1 [1に○をつけた方のみお答え下さい。]  
では、助産婦がいることをどうして知りましたか。次の中から、当てはまる理由すべてに○をつけて下さい。

1 助産婦本人が名のつたから	49
2 ネームに助産婦〇〇と書いてあったから	50
3 看護婦と違う制服を着ていたから	51
4 お産前から助産婦がいることを知っていたから	52
5 同じ病室の人から聞いたから	53 54
6 なんとなくわかった	
7 その他 ( )	55

→SQ2 [1に○をつけた方のみお答え下さい。]  
助産婦がいてどう思いましたか。また、その理由を( )の中に書いて下さい。

1 大変よかった	2 よかった	3 どちらでもない	4 よくなかった	56
(理由 )				57

問5 あなたは、助産婦の仕事とは、どのようなものだと思いますか。次の中から、助産婦の仕事と思うものにいくつでも○をつけて下さい。

1	妊娠や出産、産後の生活に対する正しい知識を教える	58
2	お産の介助をする・赤ちゃんを取りあげる	59
3	赤ちゃんの世話の仕方などを教える	60
4	授乳・調乳の仕方を教える	61
5	妊婦の検診	62
6	医者の介助をする	63
7	家族計画の指導	64
8	看護婦と同じ仕事	65
9	その他 ( )	66
10	わからない	67

問6 あなたは、母親学級をうけましたか。

1	うけた	68
2	うけなかった	

→SQ1 [2に○をつけた方のみお答え下さい。]

うけなかった理由は何ですか。次の中から、当てはまる理由すべてに○をつけて下さい。

1	仕事が忙しかったから	2	必要を感じなかったから	69	70
3	ただなんとなく	4	母親学級を知らなかったから	71	72
5	その他 ( )			73	

→SQ2 [1に○をつけた方のみお答え下さい。]

あなたは、どこで母親学級をうけましたか。

1	病院	
2	保健所・市町村など	74
3	その他 ( )	

→SQ3 [1に○をつけた方のみお答え下さい。]

教えてもらったことは、どのような時に役に立ちましたか。次の中から、当てはまるすべての番号に○をつけて下さい。

2 1

1	妊娠中の栄養について	2	妊娠中の生活について	2	3
3	お産のしかたについて	4	調乳・授乳の方法	4	5
5	乳房マッサージ	6	赤ちゃんの世話の仕方	6	7
7	産後の生活について	8	家族計画	8	9
9	その他 ( )			10	
10	ほとんど役にたたなかった			11	

問7 今回のお産に対してどの程度の不安がありましたか。

- |   |           |    |      |
|---|-----------|----|------|
| 1 | 非常に不安であった | 12 | →同8へ |
| 2 | やや不安であった  |    |      |
| 3 | 不安はなかった   |    |      |
| 4 | 全く不安はなかった |    |      |

→SQ1 [1と2に○をつけた方のみお答え下さい。]  
 では、お産に対して不安になったのはなぜですか。不安になった理由を次の中から当てはまるものすべてに○をつけて下さい。

- |   |                           |    |
|---|---------------------------|----|
| 1 | つわりがひどかったから               | 13 |
| 2 | お産に自分が耐えられるかどうか心配だったから    | 14 |
| 3 | 赤ちゃんが健康で産まれてくるかどうか心配だったから | 15 |
| 4 | ただなんとなく                   | 16 |
| 5 | その他 ( )                   | 17 |

→SQ2 [1と2に○をつけた方のみお答え下さい。]  
 お産で不安になった場合に、どのような人に相談をしましたか。次の中から、相談した方すべてに○をつけて下さい。また、その中で、最も頼りになった方に◎をつけて下さい。

- |    |           |    |
|----|-----------|----|
| 1  | 夫         | 18 |
| 2  | 自分の母親     | 19 |
| 3  | 夫の母親      | 20 |
| 4  | きょうだい     | 21 |
| 5  | 友人や知人     | 22 |
| 6  | 医師        | 23 |
| 7  | 看護婦       | 24 |
| 8  | 助産婦       | 25 |
| 9  | 保健婦       | 26 |
| 10 | その他 ( )   | 27 |
| 11 | 相談する人はいない | 28 |
- 29・30:◎

問8 今回お産をした病院には、あなたの担当の助産婦がいましたか。

- |   |                             |    |
|---|-----------------------------|----|
| 1 | 病院に通院し始めてから退院まで同じ助産婦が担当していた | 31 |
| 2 | お産で入院した時から退院まで同じ助産婦が担当していた  |    |
| 3 | いなかった                       |    |
| 4 | わからない                       |    |

→SQ1 [3と4に○をつけた方のみお答え下さい。]

では、あなたは、担当の助産婦がいた方がよいとお思いですか。

- |   |    |   |     |   |         |    |
|---|----|---|-----|---|---------|----|
| 1 | はい | 2 | いいえ | 3 | どちらでもよい | 32 |
|---|----|---|-----|---|---------|----|

→SQ2 [1と2に○をつけた方のみお答え下さい。]

あなたの担当の助産婦がいてどう思いましたか。

- |   |         |   |        |    |
|---|---------|---|--------|----|
| 1 | 大変よかった  | 2 | よかった   | 33 |
| 3 | どちらでもない | 4 | よくなかった |    |

問9 今回のお産はどのような方法でしたか。次の中から、当てはまる番号に○をつけて下さい。

- |   |                  |    |
|---|------------------|----|
| 1 | まったく自然なお産        | 34 |
| 2 | ラマーズ法による自然なお産    |    |
| 3 | 少し切開をしたお産        |    |
| 4 | 陣痛をおこすような薬を使ったお産 |    |
| 5 | 吸引や鉗子を使ったお産      |    |
| 6 | 麻酔を使ったお産         |    |
| 7 | その他 ( )          |    |

問10 あなたは、どのようなお産をしたいと考えていましたか。次の中から、したいと思っていたお産の方法すべてに○をつけて下さい。

- |   |         |   |               |    |    |
|---|---------|---|---------------|----|----|
| 1 | 自然なお産   | 2 | ラマーズ法による自然なお産 | 35 | 36 |
| 3 | 自宅でのお産  | 4 | 夫立会いのお産       | 37 | 38 |
| 5 | 計画的なお産  | 6 | 麻酔を使った痛くないお産  | 39 | 40 |
| 7 | その他 ( ) |   |               | 41 |    |
| 8 | 別がない    |   |               | 42 |    |

同11 今回のお産で、あなたは入院している間に困ったことがありましたか。次の中から、当てはまる番号すべてに○をつけて下さい。

1	母乳や授乳のこと	2	赤ちゃんの夜泣き	43	44
3	傷口が痛んだ	4	便秘	45	46
5	看護婦や助産婦の態度			47	
6	困ったことがあった時に看護婦や助産婦がいない			48	
7	その他 ( )			49	
8	困ったことはなかった			50	

SQ1 では、あなたはそのことを病院の誰かに話しましたか。

1	看護婦	2	助産婦	3	医師	51	52	53
4	誰にも話さなかった					54		
5	その他 ( )					55		

SQ2 では、そのことを話した後どうでしたか。

1	すぐに対応してくれた	56
2	何もしてもらえなかった	

同12 今回この病院でお産したことについて、あなたはどのようにお思いですか。

1	満足している	} →同13へ
2	どちらともいえない	
3	不満である	
		57

→SQ [3に○をした方のみお答え下さい。]

では、不満な理由は何ですか。次の中から、当てはまる理由すべてに○をつけて下さい。

1	陣痛の時にそばに誰もついてくれず心細かったから	58
2	お産の時、しかられたから	59
3	医師がお産に立ち会ってくれなかったから	60
4	自分の希望した仕方でお産ができなかったから	61
5	お産がよかったから	62
6	その他 ( )	63
7	別に理由はない	64

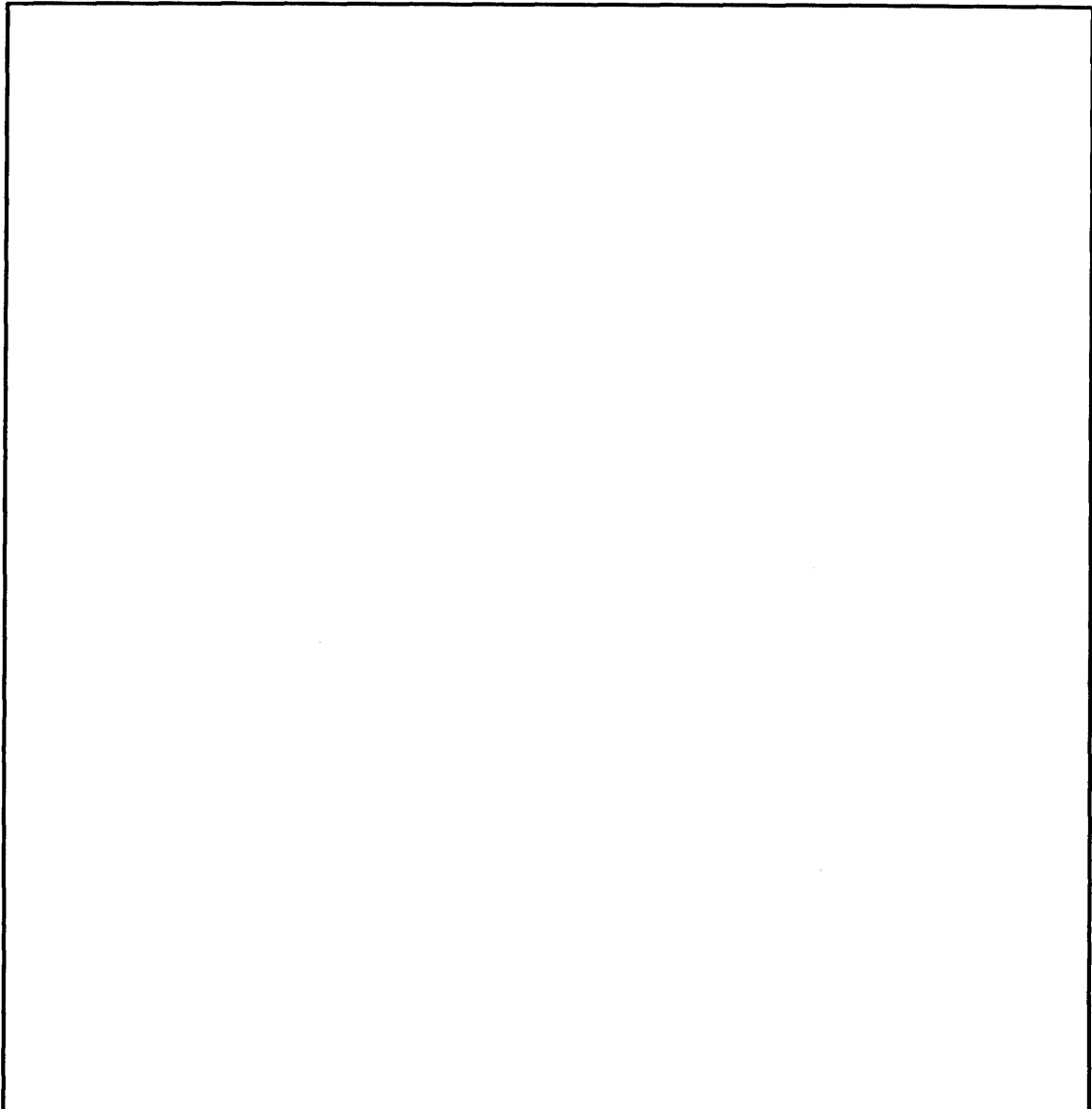
—次のページに続く—

問13 もし、次のお子さんが産まれるとしたら今回お産をしたこの病院にしますか。

- |           |
|-----------|
| 1 はい      |
| 2 わからない   |
| 3 他の病院にする |

65

問14 産院の看護婦や助産婦に望むことがありましたらを余白にご自由にお書き下さい。  
また、お産について何かご意見があれば、あわせてお書き下さい。



66

—長い間、ご協力ありがとうございました—